

とある騎空士の受難

〜古戦場アフター〜



ふんっふん！
ああ、素晴らしい具合だよ団長君！
伊達にあの古戦場で戦い抜くことができる騎空団の団長だけある！

やはり強い娘はいい
こうやって組み敷くことに
ただの村娘とは段違いの
征服感だ

本来なら私のようなものなど
君ならば簡単に成敗することが
できるだろう
しかし、古戦場の激戦を終え
消耗しきったところに投与された
薬によって君は

本来の力を発揮する
こともできずに、私のようなものに
好き勝手犯されてしまう
実にそそのるシチュエーションだと
思わないかね？



ふうふう……
好みすぎるシチュエーションに加えて
君の器量が良いすぎるせいで、ついつい
やりすぎてしまうな

それを私だけが見られるという優越感は
本当に何者にも代えがたい
高い金を払ったかいがあるというものだ

しかし……ふふ、やはり強い娘が
快楽に打ちのめされている姿は
実に唆るものがある

さあ、そろそろ続きといこうじゃないか
君も薬の影響で体が昂ぶって仕方がない
だろうじ、私自身ももっと楽しみたいからね



しかし私が一度イクまでに一体何度イっているのかな
さっきから膣内が痙攣しっぱなしじゃないか

薬の影響があるとはいえ
君は戦うことだけじゃなくて
男に征服される素質もある
みたいだねえ

なに、恥ずかしがることじゃない
女の子はみんな男に征服されることが
悦びとなるのが本来の姿だからね
たとえ戦う力を持っても、それは
よりたくましい男に屈服させられるため
なんだからね

そうだ、よりそれを理解するために
あの格好をしてもらおうかな
戦いのためにした衣装で犯されれば
意識も変わるだろう



訪れるのは、かつて味わったことのないほど
強烈な絶頂
膣から子宮から、体中に甘い甘い快楽の電流は
同時に君自身をどこまでもグズグズに蕩け
させてしまう

ふふ、私のこんな即興の語りでもだいぶ
昂ぶってくれたみたいだね
実にいいイキっぷりだよ、団長君



ふう……強い娘が力なく横たわる姿
というのはどうしてこうも魅力的
なんだろうねえ
この姿だけで楽しめてしまうよ

しかしこんなに射精したのは久しぶりだ
やはり君は私の思った通りの体だよ
だからこそ……もっと続けよう

さあほら、起きるんだ
まだまだ味わい足りないし、
君をイかせたりないのだから

ふふふ、犯されれば犯されるほど、イケばイクほど
体がどんどん敏感になって、昂ぶっていくだろう？
君に投与した薬は、そういうものだからね



だから万が一、君が私から逃れたとしても
君が味わった快感は刻み込まれ、二度と
忘れることはなく君を蝕み続けることになる



気持ちいいだろう？ 頭が体が
心が蕩けてしまうだろう？
私の肉棒を体が覚え、快感を与えて
くれるものとして、屈服している
証拠だ

安心したまえ、君はこれからずっと
この快楽に満たされ続けることに
なるんだ
体中、余すことなく開発しつくしてね
さあ



堕ちていきたまえ

おっ
おっ
おっ



一ヶ月後……



団長ちゃん！
ここに



あ……ああ……うっ!!

おやおや、随分と不躰な訪問だ
人の家に来るときはしっかりと
アポイントメントをとってからに
してほしいものだね

アポ ふざけたことを……!!
一体、団長ちゃんに何をしたの!!

何をしたのかなどと……ふふ
見ればわかるだろう?

愛し合っていたんだよ、この二ヶ月ねっとりとおかげで最初は全く聞き入れてくれなかったが今ではご覧の通りさ

おっと、やめておいたほうがいい
私が死ねば、団長君もただでは済まないよ？
この乳首とクリトリスにつけてある宝石は
ただの装飾ではないからね

そんな……でたらめを……！

愛し……っもういい……
その首斬らせてもらう……！

この宝石はね、装着者の性感を増幅する効果があるんだが、同時に持ち主……取り付けたものが死ぬと装着者にこれまで味わった快感が一気に流れ込むようになってるんだ
彼女はここ一ヶ月で相当な快感を味わってきたそれが全てとなれば……まあ耐えることなど不可能だろうね

そう思うのなら、私を殺せばいい
その後に後悔してもしらないがね
さあ、わかったのなら武器を置いて
その身を差し出してもらおうか
私の命を狙った罰を受けてもらわなくては
ね……ふふ……はははは！























